

投稿規定および執筆要領の改訂について

この度、日本塑性加工学会論文誌「塑性と加工」の投稿規定および執筆要領を大幅に改訂いたしました。2023年4月号より、「塑性と加工」はWebでのPDFでの発行となりました。これに伴い、執筆作業の効率化および迅速かつ適切な情報公開を進めます。

執筆要綱（論文系） <http://www.jstp.jp/publication/journal/guide/#ronbun>

1. オープンアクセス化の推進

全ての論文は、発行と同時にJ-STAGEにて会員外にもオープンアクセスとします。また、二次利用についてはクリエイティブコモンズライセンス（CC BY-NC-ND）に準拠します。

2. フリーフォーマットでの原稿受付

これまで著者自身でレイアウト済み（カメラレディ）の原稿を作成いただいておりますが、今後は未レイアウト状態の原稿も受け付けます。この場合、レイアウト前の原稿で査読を進め、掲載可の判断の後に編集委員会にてレイアウト作業に入ります。なお、レイアウト費用は掲載費とは別途請求されます。

3. Web版カラー原稿の標準化

電子化に伴いWeb公開原稿のカラー化については無償で受け付けます。（冊子体のカラー化には別途費用がかかります。）

4. 論文および総説論文のページ上限の撤廃

論文（標準6ページ）および総説論文（標準8ページ）のページ数の上限を撤廃します。ただし、標準ページを超える場合は、別途超過ページ費用が発生します。

5. 講演論文の投稿

講演会の講演論文に概要、考察、参考文献などを加えたものを速報論文（標準4ページ）として受け付けます。また、講演会で優秀論文講演奨励賞を受賞した論文については、速報論文あるいは論文としての掲載費を半額免除します。

6. 校閲期間の短縮

査読期間および著者修正期間の標準期間を短縮し、校閲プロセスの迅速化を図ります。特に速報論文については、大幅な査読期間短縮を目指します。

著者の皆様におかれましては、今後は、新しい投稿規定および執筆要領を確認の上、投稿いただきますようお願いいたします。一定の移行期間の後に、新规定での運用となります。学会会員の皆様には、塑性加工技術分野の発展のために、今後も積極的な投稿をお願いいたします。

（一社）日本塑性加工学会 論文誌編集委員会
瀧澤 英男 太田 高裕